

【研究概要】

本研究はうつ病および不安症患者に対してマインドフルネスに基づく介入を取り入れた精神科作業療法プログラム「マインドフルネス作業療法」を実施することによる、患者のリカバリーに対する効果を検討することを目的とする。うつ病では対人関係や本人の満足度などを含むリカバリーの概念が注目されていること、マインドフルネス作業療法では症状を抱えながらも本人の望む生活ができることを目的とすることから、リカバリープロセス尺度を主要評価項目とし、介入の効果を検討する。